

いずみ通信

～養泉寺寺報 Vol.4～



一体となって音楽を楽しむ時間（2019年9月7日）

PICK UP REPORTS ～養泉寺コンサート 2019～

31回目を迎えて

2019年9月7日。普段は読経や法話の音が響く本堂に素敵な音が鳴り響きました。今回で31回目を迎える「養泉寺コンサート」です。今回は歌とギターのデュオ spor（スポール）さんと、ハーモニカ奏者の倉井夏樹（養泉寺出身）をお呼びしました。

今回は360度お客さんの目に囲まれた円形ステージでの演奏。音響設備も特殊なものを使い、通好みの音空間に仕上がりました。あっという間の1時間半。終演後は、CDの販売や、出演者と談笑する時間が流れました。

お寺で行う意味

今では、コンサートを始め、ヨガをやったりお茶会をしたり、様々なイベントを行うお寺も珍しくありません。時々、「今の時代、お寺さんもいろんなことをしないとやっていけないでしょうね。」という言葉がいただくことがあります。それもそうかも知れませんが、本当の目的は、1人でも多くの方に、仏さまの前に座ってほしい、様々な催しを通して自分自身と向き合ってほしい、ということです。ここが、文化センターや公民館で行うイベントとの一番の違いです。逆に言えば、それがなかったら、お寺でわざわざ催し事をする必要はありません。文化センターや公民館で行っているからです。

あるべき本来の姿を目指して

お寺でコンサートを行うことは、あるべきお寺本来の姿を目指す取り組みでもあります。新しいことをやっているのではなく、本来の姿に戻ろうとしているのです。

今回のコンサートでは、親子三世代で聞きに来て下さった方もおられました。まだ小さな子どもさんはさすがにだんだん飽きてきたようでしたが、それも含めて「お寺に来た」ということが大切だと思うのです。他の行事でも一緒です。まずはお寺に来てみて下さい。その方々は、「一度来てみたかった、とてもよかった!」と言って下さりとても嬉しかったです。他の行事にもまた来てほしいなあと考えています。

もっと生活の中に仏教やお寺を取り込んで、足跡を付けて行ってほしいです。正解はありません。仏さまの前に座れば座った人の数だけ向き合い方があり、感じ方があるのです。

CD 販売のお知らせ

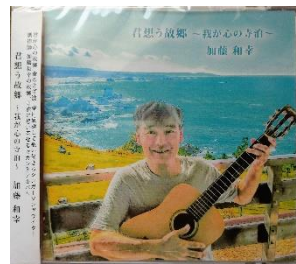
今回出演していただいた方や寺泊出身の方のCDをお寺で購入できます。希望される方はお気軽にお声掛け下さい!



「そっと手の中に」

今回出演していただいた、倉井夏樹と露木達也さんとのコラボCDです。

¥1000 (税込)



「君想う故郷
~我が心の寺泊~」

寺泊出身のシンガーソングライター加藤和幸さんのCDです。

¥1200 (税込)

みんなでコラム - 本田孝平 -

73の71、これは1973年7月1日、真夏の或る宴会の席で出会ったのが33才と28才、そして結婚。あれから33年後の早春、妻は“千の風”になった。

今思うにチグハグ夫婦だったかも知れん。思い出すなあ、ある日口喧嘩の時妻は「…と意見を述べたまで」と反論には参った。国会答弁の言い訳みたいでオレはその後の言葉が出なかった。またまた喧嘩の話で恐縮ですが、今度は亭主の威厳をと頬に手をあげてしまったら妻は反撃してきた。そして耳がおかしいと医者に行き領収書突き付けられた。耳に異常はなかった。以来妻に手をあげることはなかった。

暴力は断じていけません。勝っても気は落ち込むだけ。特に亭主族は近い将来身の周りや食事、下の世話になるんだから、女房には負けるが勝ち、そういう年月を経て本当の夫婦の“阿吽の呼吸”で漫才じゃないが、「母ちゃんアレだよアレ」「あいヨこれだネ」と、アレと場の空気では何が欲しいのか分かるんだから、



そのうち口にせずとも目と目で分かり合うようになれば夫婦万歳。

横道に外れたが我が道は、一人身になってからは自由奔放になってよく旅行に出かけたが、度々出かけるもんだから我が娘達に「また旅行!？」と嫌味の一言も、オレも負けてはいない。「今回の旅行はお前達の母親の代わりに行くのだ」と言い訳をして出発するが当然「気を付けて…」の優しい言葉はありません。しかし旅先の土産を渡すと受け取るからオレの本心を察している。

妻よ、よくぞ女の子2人産んでくれたと命日には毎月、真宗大谷派の『正信偈』の読経の良き夫ぶりだ(懺悔の気持ちを込めて…)

妻が千の風になった当時は、♪お墓の中で眠ってなんかいません、風となって吹きわたっています♪、高音のテノール歌手の秋川雅史さんの元気な歌に元気づけられました。

今は少し忘れ去られようとしているこの名曲も怒っているのか、近年台風暴風竜巻が多発怒り狂っているが、大人しい風なら妻に会えるが、こう速いんではどれが妻か他人かが分からない。どうか天気的神様、そよ風のさわやかな風になって下さい。村の鎮守的神様よ。

KOTONOHA



延宝2年(1674)、新潟寺町の法中が真二つに割れて争う事件が起こり、最終的には本山の裁きが行われるまでに発展しました。これを「新潟法中出入事件」といいます。

この事件は同年の秋、新潟寺町真浄寺の秋彼岸の説教を担当した能登の浄明寺が、「お念仏は称えることを励むべきですよ！」という趣旨で話したのですが、たまたまその説法を聞きに行っていたある寺の住職が、「お念仏を励むことは自力だから違うのではないか？お念仏は心からおのずと出てくるものであるはずではないか？」と反論したことが引金となり、本山まで巻き込む騒動となりました。

その異議を唱えた住職こそが、なんと当時の寺泊の養泉寺の住職だったのです。

翌年にはその事件は本山からの教諭により治まりました。結果は、「励むべき」と主張した能登の浄明寺が正しいということで落ち着いたようです。

私たちはどちらが正しいか、どちらが勝ったかということばかりを気にしがちですが、本当に見つめるべきことは、それぞれのお寺が「お念仏」ということをそこまで真剣に学び求めていたことではないでしょうか？

養泉寺の掲示板の言葉 (9月から2月まで)

- 9月 「日々これ口実」
- 10月 「人生はコクと風味の二番だし」
- 11月 「道に迷うことこそ道を知ることだ」
- 12月 「愚痴はこぼす 念佛はこぼれる」
- 1月 「あなたが生まれてこなければ
生まれなかったものがある」
- 2月 「いただくときはありがたく
さしだすときはみれなく」

お寺の裏側 —URATERA—

もっと知ってほしいお寺の情報や、知っているようで知らない仏事の豆知識などを紹介します！！



えっ!? 養泉寺がもう1つあるの!?

安政2(1855)年、養泉寺に生まれた倉井恵洞は、20歳で得度(僧侶になること)した後、北海道北広島にて一字を建立しました。明治33年に「無碍光寺」の寺号を許可され、明治35年には本堂が完成しました。現在も立派に活動しています。



開基住職 釋 恵洞師



養泉寺を訪れた無碍光寺の皆さんと記念撮影 (2015年10月21日)

2015年、その無碍光寺から、当時御住職の高瀬法輪氏と御門徒の皆さんが寺泊養泉寺を訪れて下さいました。そこで、旧養泉寺本堂の写真を見ていただいた時、無碍光寺の本堂と似ていることに驚かれていました。きっと開基住職である恵洞氏が寺泊を離れる際、養泉寺の本堂を目に焼きつけていったのだろう、と推測しておられました。何か感動しませんか。養泉寺出身の恵洞氏の精神が息づく北海道の無碍光寺に、今度は私たちがお参りに行く番ではないでしょうか。

PHOTO GALLERY

10月27日、28日 報恩講

9月7日
養泉寺コンサート 2019



真夏に逆戻りした様な暑さの中、熱い歌と演奏を披露して下さいました sporさんと倉井夏樹！

9月23日 秋彼岸会（お中日）



当院の法話では、皆さんを特別にお内陣にご案内。クイズ形式でお浄土の世界をお話しました。

お齋は坂井町、磯町組の皆さんが手作りで、色とりどりのメニューを作して下さいました。御門徒の高橋農産さんから取り寄せた草餅も絶品です！



今年は佐々木恵一郎先生、最後の年！複数年に亘って、熱いお話をありがとうございました。聞いた方はいろいろと考えさせられたことと思います。

二日間、お手伝いして下さいました世話方さん、お勝手の皆さん、お参りして下さいました皆さん、ありがとうございました！子どもたちもよく頑張りました！！

10月19日、11月9日
養泉寺 おそうじ隊



れん
蓮ちゃん

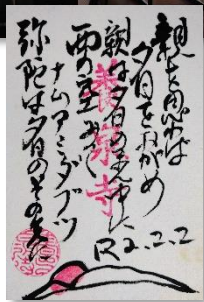


あなたも参加しようよ！



境内や墓地の枝払い、落ち葉掃きなど、寺族だけではとても手が回らない所まで、さっぱりきれいにしていただきました。参加者が年々少なくなっています。少しでも力を貸して下さいました方がいれば非常に助かります。

10月～11月
寺泊観光協会「寺めぐり」



寺めぐりに会場として参加！
多くの方が訪れて下さいました！
法語印も大好評でした。

11月28日 おあさじ会



親鸞聖人の祥月命日の朝に、皆さんでお正信偈のお勤めをしました！
朝ご飯を食べて、いってきまあ～す！

12月31日 除夜の鐘



ご近所の方が10名ほど突きに来て下さいました！
子どもたちも真夜中まで起きて、力強く鐘を突きました。

1月28日 初お講



お勤めの後、当院と住職の法話。真宗門徒がお念仏とともに、生・老・病・死と向き合う姿について、お伝えしました。

お齋では、お楽しみ会も行いました！福引やグラウンドゴルフ大会を行い、楽しく過ごしました。

張り紙を作って下さった方、食材を差し入れして下さいました、ありがとうございました！
参加したことのない方も、ぜひ一度ご参加下さい！！



教えて！！ Q&A コーナー その1

この半年で、御門徒さんからいただいた疑問や質問にお答えします。こんなことを教えてほしい、これをぜひ採り上げてほしい、というリクエストもお待ちしています！！

Q 永代経って何ですか？

A 永代経（えいたいきょう）とは永代読経の略です。お手次寺の本堂に、永代にわたって（いつまでも）お経（仏さまの教え）が説かれ続けることを願い、お寺がお念仏の道場として開かれ続けることを願う懇志で、寺院護持のために使われます。故人の御命日にはお寺が続く限り本堂でおつとめが勤まります。誤解としてよくある例としては「後のことはお寺にずっと任せておけばいいや」という代行料だと思われること、また「永代経を納めたから故人の追善供養になった」という供養料だと思われることです。浄土真宗は追善供養の教えではなく、私たち一人一人がお念仏に目覚めていく教えです。

御同朋（おんどうぼう）として、お念仏の仲間として、共に教えを聞いていくことへの願いが、永代経に込められた本当の意味なのです。



永代経をお納めいただいた方の名前は、本堂に掲げられています（最近5年間）。5年以上経つと札は片付けますが、記録としてずっと残ります。お参りの際にご確認下さい。

教えて！！ Q&A コーナー その2

今回はもう一つお答えしちゃいます！！ 今度は法事などでよく話題になるお金の話から。

Q 「お寺は非課税」などといいますが、お布施はそのまま懐に入りますか？

A とんでもありません。これは今でも大分誤解されている部分です。お布施は個人ではなくお寺に対するものなので、全て「宗教法人養泉寺」の財布に入ります。お布施そのものには税金はかかりません。しかし、その法人の財布から毎月、お寺維持にかかる経費が引かれます。そして住職と当院への給料もそこから支払われます。当然所得税や住民税が差し引かれ、手取りの額面が通帳に記載されます。それをもとに住職も当院も個人の家庭生活をやりくりしているのです。ですので分かりやすく言えば、住職も当院も養泉寺に勤務するサラリーマンになるわけです。



寺院も事業所扱いです。毎月一度、会計事務所の方から来ていただき、法人の通帳や帳簿についてきちんと処理されているか、間違いはないかを見ていただいています。

また様々な事情から、可能な範囲でキャッシュレス決済やポイントも活用し、節約を心がけています。

寺族の声 - 編集後記 -

今回は、分水の本田さんから「みんなでコラム」を書いていただきました。文字数など、詳細は後ほど…と、また日を改めて、と思っていたら、次に会うときには原稿を2種類も書いて来て下さいました(笑)読んでいてにやけてしまう本田節!ちなみに本田さんは、新潟日報の読者投稿欄にもよく投稿されています。知らぬ間に目にしているかも知れませんね!

考えてみれば御門徒さん同士、お互いのことを知らないだけで、実はいろいろな場面ですれ違っているのかも知れません。職場の中で、町のスーパーで、公民館で、電車の中で、商品やサービスを通して…。私自身も親子5人で出かけている時、御門徒さんによく会います。分水のマルイ、ひらせいホームセンターにはしょっちゅう出沒いたします。御門徒さんから気付かれることはまずなく、十中八九、私が先に気付きます。「私服らっけ分からな

ったですてえ!」とよく言われます。

私も衣を脱げば、ただの一人の人間です。腹黒く、計算ばかり。日々不満と不安に押し潰されそうで、周りにたくさん迷惑もかけます。愚痴もこぼします。弱音も吐きます。「え?お坊さんってそういうこととは縁遠い立派な人じゃないの?」と思うかも知れませんが、浄土真宗の教えを聞くと、どうやら違うようです。

それはそうと…私は風呂巡りが大好きです。この辺では、岩室の「だいろの湯」が一番好きで、時々利用しています。サウナは12分×3セット、そして湯上りに缶ジュースを1本…これがたまらないです。少しでも共感していただける方、ぜひ一緒に風呂に行きませんか?むしろ飲みにも行きませんか?そしていろいろ話しませんか?いや、本当に。

お風呂で語り合うように、何でも包み隠さずに、心から裸の付き合いができる、そんなお寺になっていくといいなあ…。

文章: 当院 (倉井光弥)

長岡市の山口達雄様より、本堂のカーペットを寄進していただきました。ありがとうございました。皆さんで大切に使わせていただきます。



新潟市の本田恵一様より、正信偈のお軸を寄進していただきました。ありがとうございました。



ヨガ教室、開催中!!
和気あいあいと楽しくやっています☆

毎月第2・4月曜日 13時15分~1時間程度
詳しくは大矢ひとみ先生まで!!

Tel 090-2980-6293
Web <http://sonomamanohito.blogspot.jp>

一緒に正信偈のおつとめ練習してみませんか?

当院がおつとめをお教えします。正信偈は基本。希望者が1名でもいれば、日時を合わせてお教えします。とにかくまずは連絡を!

全ての連絡先、問合せ、疑問や質問、ご意見ご感想はこちらまで!!

電話 0258-75-2210
ブログ <https://yosenji.exblog.jp/>
メール yosenji1594@gmail.com
郵便 〒940-2502 新潟県長岡市寺泊一里塚 3883

待っておるぞ!



うまおんくん

LINE 友だち追加



養泉寺 行事カレンダー (3月～9月)

春彼岸会 (お中日)

3月20日 (金祝)

<日程>
午前10時30分～午後1時頃まで

<法話>
住職、当院

<詳細>
お中日のみお斎あり。彼岸入 (17日) と彼岸明 (23日) は、10時半よりお勤めのみ。

法中講

6月16日 (火)

<日程>
午前10時～午後1時頃まで

<法話>
法中御寺院さま

<詳細>
法中 (お寺のグループ) の皆さんによる法話をお聞きします。一味違ったお斎あり。

法友交流会 (生ビールの会)

7月4日 (土)

<日程>
午後6時～午後8時30分頃まで

<法話>
小柳 円晃 師 (新潟市 明願寺 当院)

<詳細>
お勤めと法話の後、生ビールで乾杯します。飲めない方やお子さんも大歓迎。申込み制です。

盆参、新盆会

8月1日 (土)、2日 (日)

<日程>
午前10時30分～午後1時頃まで

<法話>
住職、当院

秋彼岸会 (お中日)

9月22日 (火祝)

<日程>
午前10時30分～午後1時頃まで

<法話>
住職、当院

<詳細>
お中日のみお斎あり。彼岸入 (19日) と彼岸明 (25日) は、10時半よりお勤めのみ。

お講 (28日講)

6月、7月、8月、各28日

<日程>
午前10時30分～午後1時頃まで

<法話>
住職、当院

<詳細>
お念仏とは何か。一緒にお勤めをし、住職、当院がそれぞれの言葉でお話しします。

※ 4月に寺泊の花まつり、8月に子ども会、9月にコンサートも予定しています。